



「ふれあいの里山」 復活大作戦

日時	2019年 8月 3日(土) 9時00分～ 12時00分
場所	金ヶ崎公園
参加者	エコイング会員／7名、事務局／1名 計／8名

● 今日の活動

今日は、梅雨明け後の猛暑の中での活動になりました。午後に他の予定がある活動メンバーがいたことと、熱中症の予防のため、今日の活動は午前中の自然観察のみとしました。朝9時に、公園の会議室に7名のメンバーが集まり、ミーティングの後に公園内のコースを巡って、昆虫を中心とした自然観察をしました。

今日も朝から気温が高く、昼前には30℃に達する暑さでした。公園内はアブラゼミやミンミンゼミの蝉ぐれが響き、歩いているだけで汗だくになりました。それでも、体調を崩すメンバーもなく12時に会議室に戻ってきて、無事に今日の活動を終わりました。

● 次回の活動は、9月7日(土)の予定です。

まだ残暑の厳しい時期とは思いますが、どこかに秋の気配も感じられるかもしれません。たくさんの皆様のご参加をお待ちしています。

自然観察(その1)



自然観察(その2)



自然観察(その3)



活動終了前の集合写真



今日の自然観察日記(その1)

8月に入り、金ヶ崎公園はセミのなかまの大合唱に包まれていました。今日は、アブラゼミ、クマゼミ、ニイニイゼミ、ミンミンゼミの4種のセミを確認しました。また公園内の小川の流が復活して、イトトンボのなかまが見られるようになりました。ウチワヤンマも姿を見せました。チョウのなかまでは、2ヶ月ぶりにゴマダラチョウが観察されました。その他に、ガのなかまやカメムシのなかまのキマダラカメムシの成虫と幼虫が姿を見せました。また、まだ翅が小さなカマキリのなかまも見つけました。

コウチュウでは、樹液が出ているアベマキに30匹近くのカナブンやシロテンハナムグリ、シラホシハナムグリなどが集まっている様子も確認できました。

アブラゼミ(左)とクマゼミ(右)



アオモンイトトンボ(♂)



ゴマダラチョウ



キマダラカメムシの成虫



ニイニイゼミ



アオモンイトトンボ(♀)



コシロシタバ



キマダラカメムシの幼虫



ミンミンゼミ



ウチワヤンマ



ヒメウコンエダシヤク



カマキリのなかまの幼虫



今日の自然観察日記(その2)

アベマキの樹液に集まる30匹近いカナブンやシロテンハナムグリ、シラホシハナムグリなど



野鳥では、姿を見せるものは少なく、撮影できたのはハクセキレイだけでした。その他の生き物では、爬虫類のニホントカゲのオスとメス、ヘビのなかまのヒバカリが姿を見せました。

植物では、コブシの実が色づき、ヒヨドリバナやヘクソカズラの花が咲き始め、季節外れのヤマツツジの花も見られました。

一方で気掛かりなこともあります。金ヶ崎公園で、3年前から被害が出ているナラ枯れが、今年も発生しています。正確に確認してはいませんが、今の時点で10本程度の被害が出ているようです。

ハクセキレイ



ニホントカゲ(オス)



ヒバカリ



色づいてきたコブシの実



咲き始めたヒヨドリバナ



ヘクソカズラの花



季節外れのヤマツツジの花



公園入口近くのナラ枯れ被害木

